

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



DISTRICT 360

ICHISABURO YAMADA

THE CHUKYO SOGO BANK, LTD.
3-33-13, SAKAE, NAKA-KU
NAGOYA, JAPAN 460-91

山田市三郎

国際ロータリー第360地区 ガバナー事務所
名古屋市中区栄三丁目33-13
中京相互銀行 7階

No.5 OCTOBER 1975

●ガバナー月信 第5号 昭和50年10月15日

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！

■第360地区各ロータリークラブ会長幹事殿

公 式 訪 問 随 想

国際ロータリー第360地区ガバナー 山田市三郎

善 意

月日の流れるのは、全く速いものです。時の流れは、如何なる難問題をも、てきぱきと解決いたします。初体験のこととて、緊張そのもので、7月8日に犬山クラブの公式訪問を行ってから、もう3カ月余たち、37クラブの訪問を終えました。360地区は73クラブであるので、もうなかば以上訪問したことになります。

人間万事案んずるより、生むがやさしとはよくいったもので、各クラブの皆さんの限りない暖かい真心のこもった歓迎をうけて、楽しくロータリーについてディスカッションをなし、時の移るのを忘れました。

今朝こうして、伊良湖岬の先端にあるホテルの窓から、潮騒を聴きながら静かな伊勢湾の海に浮ぶ神島や大王崎を眺めて、瞑想にふけていますと、山間僻地のクラブの会長さんや幹事さ

んが、はるばる遠い雨中の山越え谷を渡ってお迎えに来て下さった、お姿などが目に浮んで、ロータリアンの善意の尊さが、じーんと胸に来るものを覚え、今更ながら、ガバナーの責任の重さと深さを思わないではられません。

出 席 率

度々公式訪問の席上で、出席率について真剣に議論されます。1カ年継続100%と発表されるクラブの存在は理解しかねるということ。近くにメークアップするクラブがなというハンディキャップとをみとめてもらいたいこと。ホームクラブのみへの出席率を比較すれば他クラブと何ら遜色のないこと。メンバーの住所、営業所がクラブから遠距離にあるか、交通機関が極めて不便であること。

それぞれのクラブの地方的特異点を实地によく視察しなければ、軽々に結論を出せないむづかしい問題がいろいろとあるものです。

■地区情報研究会盛大に举行



挨拶する田宮カウンセラー

今年度より初めて開かれた地区情報研究会は10月12日(日)名古屋都ホテルにおいて391名参加して盛大に举行されました。

研究会は、田宮カウンセラーの指導のもと出席者の意欲的な姿勢も相まって、終始熱心な討議が行なわれ、成功裡のうちに終了しました。

田宮カウンセラーのロータリーに対する素晴らしい情熱と厳しい中にも人間性豊かな、適切な指導は、出席者に多くの感銘を与えました。地区全ロータリアンを代表して衷心よ



会員増強委員長グループ

り厚くお礼申し上げます。

また、ホストクラブである名古屋西ロータリークラブの皆様やリーダー及びリソースマンの諸先生方には大変お世話になりました。献身的なご奉仕をいただき厚くお礼申し上げます。なお、当日の出席者は次のとおりです。

クラブ会長	73名
広報委員長	72名
会員増強委員長	73名
青少年奉仕委員長	73名
ロータリー情報委員長	72名
指定参加者以外の出席者	28名
出席者合計	391名

■1976—77年度ロータリー手帳について

1975～76年度ロータリー手帳委員会が下記のとおりに開催され、次年度ロータリー手帳の基本方針が決定しました。

1. と き 9月22日(月)10:00～12:00 会議
12:00～13:00 昼食

1. ところ 東京駅2階 ステーションホテル

1. 出席者 「友」委員長 安野 譲次(一宮)
元地区委員 大熊 立治(岡山南)
船江豊三郎(古河)
「友」専門委員 鈴木敏三郎(名古屋南)
藤森 真生(東京西)

1. 議 事

① 今年度(1975～76)のロータリー手帳を各項目にわたって検討し、次年度ロータリー手帳の基本方針(下記)を決めた。

(1) 形式については、昨年度より採用した大型判(145×90mm)は、一部にまだ従来の小型判を希望する向きもあるが、大勢としては好評であり、今年度に入ってから益々定着した

ようであるので、次年度もこの形式を採用することにした。

(2) 表紙の体裁については、年号をもう少し大きくすること。

(3) 見返し(4つのテスト・綱領)は、4つのテストの文中、「言行はこれに照(ら)してから」に(ら)を入れる。

(4) 7曜表およびトビラ頁は次年度もこのスタイルでいく。

(5) 主なる年間行事表については、各種週間の月日の表記を、例えば「世界理解週間、9月15日を含む週間、当クラブは 日 曜日」と各自記入できるように空白を設ける。また新たに、米山記念週間、4月22日～28日を加えることを決めた。

(6) 月別予定表については、英文の曜日SUNを白ヌキにする。

(7) 本文については、数字、曜日、祝祭日、六曜、24節気、雑節、各種ロータリー行事等、現行の記載事項のみで十分であること。また活字の大きさ、スタイル、位置なども現行の

ままでいくことにした。

(8) ガバナーおよびガバナー事務所の頁，ロータリー関係事務所一覧の頁も，ともに現行のスタイルを続ける。

(9) 年齢・干支・西暦早見表の頁についても異議はなかった。

(10) 別冊資料篇については，この形式を次年度も続ける。本文中，ロータリー語解の解説中に交換学生の件を加えること。また，この語解のインデックスを目次欄または適当な見やすいところにつけることにした。次年度の解説も続けて元R I 理事松本兼二郎に執筆していただくよう依頼することにした。

(11) 別冊住所録の表紙にもロータリーマークを入れること。

② 第358地区内数クラブより提案されている，暦年（1月～12月）ロータリー手帳の製作について審議したが，この問題については，今後さらに検討を重ねていくことにした。

ロータリー財団週間について

国際ロータリーは，151カ国に357の地区，16,500以上のクラブ，そして75万人を越す有能な実業人及び専門職業人よりなる会員を有し，またロータリー財団はだれでも参加できる世界中にわたる国際的な奉仕計画であります。

この参加に最も理想的な時期が「11月9～15日のロータリーの財団週間」であります。

この特別の週間は財団を財政的に支持するだけでなく，財団につきその目的や活動状況について全ロータリアンへ周知させる絶好の機会となります。ロータリー財団週間のご準備に万全を期し，実のある週間となりますようお願いいたします。

ロータリー財団追加教育補助金受領候補者の推薦について

このたび，国際ロータリー財団管理委員会委員長アンスト・G・ブライトホルツ氏より，1974～75年度の当地区の財団への1人当たり平均寄付額は\$35.49であり，したがって1977～78年度の追加教育補助金の割当は4口で計5名の教育補助金受領候補者を当地区としては薦推することがきる。

また，別に心身障害者教師候補者を1名推薦することができる旨正式に連絡がありました。

1977～78年度ロータリー財団奨学生の関係書類について

1977～78年度財団補助金の文献と大学院，大学，専門的訓練，教師各課程の申請用紙は11月上旬R. I. 文献東京事務所よりガバナー事務所へ送付されて来ます。

各クラブには直接送られませんので，応募者がございましたらガバナー事務所へお申出下さい。

地域別1974～75年度財団寄付金表

地 域	寄 付 額 (U. S. ドル)	1人当り 平均寄付額
ア ジ ア	2,786,048.93	26.80
ヨーロッパ，北アフリカ，地中海東部	659,467.43	5.36
イギリス，アイルランド	147,447.39	2.77
南米，中米，メキシコ，アンチル列島	319,189.12	4.43
合衆国，カナダ，バーミューダ	2,871,122.50	8.25
オーストラリア，ニュージーランド，アフリカ及び上記以外の国	332,580.35	6.02
世界の寄付額	7,115,855.72	
世界のロータリアン1人当りの寄付額		9.42

地区別1974～75年度寄付金表

地 区	寄 付 額 (U. S. ドル)	1人当り 平均寄付額	地区%
349	45,832.77	19.26	100
350	99,794.50	44.27	100
351	80,103.06	27.74	100
352	76,636.46	31.08	100
353	59,995.10	20.51	200
354	43,716.95	18.88	200
355	91,395.70	35.91	300
356	82,802.07	29.45	300
357	88,168.50	36.13	200
358	311,727.01	58.42	100
359	199,625.64	68.13	600
360	147,075.19	35.49	200
361	74,945.56	19.76	200
362	109,696.03	48.05	400
365	186,824.69	67.67	1000
366	174,076.63	40.78	500
367	50,353.75	22.26	100
368	71,149.13	30.75	300
369	188,970.28	43.67	100
370	105,152.35	30.24	200
373	63,202.22	21.67	100

●親愛なるロータリアン各位

ロータリーのすぐれた特徴の一つは、ロータリーの綱領第1項は「奉仕の機会として、知り合いを拡めること」という字句に含まれています。これは単に口先だけの理論に終る高尚で大げさな理想ではありません。むしろ「ロータリーの柱石」とも称されるべき実際に役立つ極めて実用的基準であります。今は亡きフランスの飛行家兼作家の Antoine de Saint-Exupery は「友情を教えることは出来ない、ただ実行するのみである」と、この友情についての実用的見解を表現しています。奉仕の実践の基礎として友情を育てること—これがロータリーの全てであります。インバッサイ会長は今日の困難な時期に際し、全ロータリアンが総動員して行動に立ち上がるよう要請しておられます。「我々のクラブが、友情、親睦によって団結を固め、活動的かつ友好的であることによって地域社会において真に威信ある地位を保つよう、各自その分を尽すこと。」個々ロータリアン又クラブが「人間の威信」を高めるためにその行動を強化するのは、彼等が、他に比類のない親睦と友情の理想のもとに知り合いを拡めれば奉仕を実践する機会となることを見出したからであります。

●青少年との接触にロータリーの世界の使用

ロータリーの刊行物、ロータリーの世界は、青少年がロータリーの理想の理解を深めるものとなりますので、クラブがその地域社会の青少年と接触するに当りクラブの青少年奉仕委員長が利用できるものであることを地区青少年活動担当委員長にお伝え下さい。クラブの青少年奉仕委員長はロータリー教育のこの面をまっとうするため、各自のクラブに、ロータリーの世界を地域社会内の学校或は図書館に贈るよう奨励して下さい。クラブよりこの本を贈られた多くの図書館はこの本を激賞しております。クラブの幹事を通じてこの本を注文するよう各クラブにおすすめて下さい。

●大会におけるスライドセットは行動を喚ぶ

その当時ローデシアの一地区のガバナーであった人物から次のような言葉が寄せられました

1975年9月1日付

「最近開かれた地区大会のプログラムに私はスライドセット「ロータリーアクトの活躍」の上映を加え、それに続き講演と本会議を行った。何百というロータリアンにとって、それは初めて見るものであったが、彼等は非常な感銘を受け幾多のクラブがクラブで上映する事を申し出た。それは大成功をおさめたので、その結果、私はロータリーアクトに対する興味が倍加されたと確信している。このプログラムの上演は価値あるものであった。」このスライドセットは当事務局に用意されている多くの品物の一つです。貴地区内のクラブにペーパー第100J号に目を通すようすすめて下さい。

●何故世界社会奉仕か

最近行った講演でカナダ国際開発公団総裁の Paul Cérin-Lajoie は「開発とは何であるかを説明する必要がある。開発途上にある国々は、開発とは単に生残を確約し、人間の必要とする最小量の食糧、衣類、そして又避難所を提供するだけの問題には止まらないことを判然とさせている。開発はこれらの根本的需要を満足させるだけでなく、人間の品威、自立心、そして又個人の創造能力を最大限に活用すること等についての重要な概念をも含むのである。今日においては自己に対する信頼、国の天然及び人的資源に対する信頼、目標を定め他に依存することなくして決定する能力が強調されているのである。」ロータリーにおける世界社会奉仕の目的は、特に他の人々がその地域社会を援助し、関心を寄せる際、専門意見、物資、資金を分かち合うことにより彼等が自身で活動できるよう援助を与えそして世界は一つのものであるとも認識を深めることにあります。世界社会奉仕は、たとえ個々が遠く離れていても、「人間の威信」をたかめる一つの方法であります。

●ロータリアン誌10月号青少年活動の特集

ダイオジニーズの時代から人々は実業及び専門職業の分野又個人生活における誠実と道徳について考えて来ました。読者の皆様は「Honesty, ethics, and human freedom」に書かれている

最近の人々の行為に注視し、誠実とは流行遅れで失ってしまったものか、或は単に眠っているだけのものか……そしてロータリアンは何が出来るかを自問するよう求められています。

南アフリカを訪れる者はだれでも4～7日間にわたる Umfolozi Game Refuge へのハイキングを楽しむことが出来ます。「Try an African walking photo safari」は、野生動物の間で暮し、その生態を近距離でカメラに収め、又、生物保護についての基本問題を体験より学んだ7名の米国及び南アフリカの少年による記事です。

1976年ニューオーリンズで開催される第67回国際ロータリー大会に因み、ロータリアン誌が詩人の James Dickey 及びアーティストの Hubert Shuptrine 合作による美しい本、**Jerico** よりの抜すいを紹介します。「Behold the South」は、米国南部とその住人を愛するこれら二人の目を通して南部の神秘を研究する記事です。

10月号にその他ロータリーアクト及び青少年交換についての記事、又、「This Rotary World」のページには10月12～18日を期して行われるロータリーの青少年週間に因んで若さに主眼を置いた記事も掲載されています。

●公式名簿1975～76年度版

1975～76年度版公式名簿が全地区ガバナー並びに全クラブ幹事宛に発送されました。これには、各クラブ毎に、創立年度、地区番号、例会時間、例会場、会員数、そして会長幹事の氏名住所が記載されています。そしてまた、国際ロータリーの全役員並びに全委員会の委員の氏名住所、地区毎に現ガバナーの氏名住所、パストガバナーの氏名などが記載されています。又旅行されるロータリアンの便宜を計り、世界各国の旅館やホテルの一覧表が付いています。ロータリーをはじめ、インターアクト、ロータリーアクトのキ章入りの製品の製造販売が認可されている商社リストも付録としてとじ込んであります。旅行を計画しておられる貴地区内のロータリアンは、旅行中に例会欠席をメイクアップできるように、各自用の名簿を購入することを奨励して下さい。一部に付、米貨\$2.50で中央事務局より購入することができます。

●希望で社会を明るくしよう

南アフリカ・ケープタウン R C の会報はイタ

リアの地域機関誌ロータリーの記事、「Rotary and Freedom」よりの抜すいを掲載しています。それは、社会において奉仕に従事する自由人としてのロータリアンの威信を主張したものです。

「生はんかな妥協、あきらめの放棄より逃れるために、我々はロータリアンの規定に従い、もう一度我々の行わんとしている事、或はいわんとしている事が真実で公正なものか自問すべきであり、又、家庭、仕事場、そして社会内においてロータリアンの自己反省の信念を普及させるべきである。

だれかが、私達は他人、地域社会、また援助を必要としている人々のために最善を尽くす人々である、と信じてくれたからこそクラブに入会出来たのであることを思い出そう。そしてこの私達に寄せられた信頼を裏切らないために、もしもそれが本来の姿通り愛他主義と友情をもって行われるならば、永遠に更新される希望の光で私達をそして私達のまわりの社会を明るくするこの奉仕に貢献しよう。」

1975年10月1日付

●親愛なるロータリアン各位：

世の中の不安な状態は解消せず、人類存続の土台に物心両面からの攻撃が浴せられている時代にあって、人々は、何か、その生命及び生活に意義を与えてくれるものを探し求めております。インバッサイ会長は全世界のロータリアンに対すメッセージにて「疑いもなく、私共の時代は困難な時代です。人類の生活に対する脅威は日増しに圧倒的になっています。そして今や全人類が危険にさらされ、危急存亡の瀬戸際に立っています。」と指摘しておられます。確かに現代を観察するとき樂觀を呼ぶものは見当らないのであります。けれど、どんな状態のもとにあっても人間は希望を持ち続けることができ、ロータリーは、その地域社会の大小を問わず職業生活で、又、青少年プログラム、教育補助金、その他各種のプログラム、奉仕活動を通じて、この児童に、あそこの青年や老令者にと、人々の心を和らげることにつとめているのであります。インバッサイ会長は全ロータリアンに責任ある指導力を結集してこれに当るべく良心を働かせることを求めています。ロータリアン

は、これまでのロータリーの業績を正しく誇りにすることはできますが、イタリーのロータリアンが「ロータリーの世界」に記述している如く、「これからもロータリー・クラブは真に人類の幸福に役立つことに協力し奉仕する新しい方法を見出す努力を続けなければならないのであります。」

●地区ロータリー情報研究会の成果の徹底をはかる

9月15日から11月15日までの期間中に開催される地区ロータリー情報研究会は、奉仕の全部門における活動の討議、計画、クラブ会員の増加、ロータリークラブの指導力の開発を通してロータリー運動の前進をはかることを目的とします。この研究会が開催されましたならば、閉会后、できる限り速やかに、この研究会で検討されたアイディアや活動試案、特にクラブの指導力に関連するものを要約して各クラブ会長へ配布して下さい。そうすることによって地区内各クラブ会長の指導力を一層効果的にすることができるのであります。

●1977～78年度会長指名委員会への提案用紙

1977～78年度国際ロータリー会長指名委員会による会長ノミニーの選出指名に当り、同委員会の考慮を求めて候補者の提案を希望するクラブは、現在全クラブ幹事宛に送付されつつある公式用紙を使用されなければなりません。

そして、同委員会に考慮されるには、全所要事項が記入された公式提案用紙をもって遅くとも1975年12月31日までは、米国、イリノイ州、エバストンの中央事務局気付にて同委員会のもとに到着しているように提出されることを要します。

なお、会長指名委員会における会長ノミニーの選定につき、各クラブより（候補者名を提案する以外に）その選考に影響を与えんとすることに関連して国際ロータリー理事会は、次の決議を採択しております：「理事会は、国際ロータリー会長ノミニーの選定は、もっぱら会長指名委員会の責任においてであることを認め、この件に関する委員会の決定に直接又は間接に影響を及ぼす如何なる外部からの働きかけにも好意を寄せないものである。」

●国際協議会ボカ・ラトーンに確定

1976年国際協議会を6月3～11日、米国フロリダ州のボカ・ラトーンで開催するについての手配が完了いたしました。輸送手配、その他についての詳細は、11月又は12月中旬に全地区ガバナー・ノミニーへ伝達されます。先日ボカ・ラトーン・ホテルの重役、エドモンド・サンソヴィニ氏より届いた手紙によりますと、同ホテルの職員も国際ロータリーの人達を接遇することを喜んでいるとのこと。食堂の給仕長は「すばらしい人達のグループである。」といい、給仕の一人は「ロータリーの人達より優れたグループに接したことはない。」と評しているそうです。

そして、その重役は、「職員一同、皆、このように感じており、皆様が1975年に来られたことを喜び、1976年に、また、その機会に浴しますことを楽しみにしております。」と記述していました。

●国際大会の推進用資料

国際大会推進用資料を、当事務局へ報告されている各地の「オン・ツウ・ニューオーリンズ」委員長宛に発送いたしました。もしもまだ報告しておられない場合には、直ちに同委員長の氏名をご報告願います。三つの文化系統の影響を受け、その伝統が超近代的なものと融合している、この町の背景は、「未来を確保する」という本大会のテーマを協議し、その実践をはかることを促がすものとなります。

●地区ガバナーが必要とするロータリーに精通したクラブ会長

クラブ会長必携は各クラブの会長にとって、貴殿にとっての地区ガバナー必携と同じであります。双方とも、それぞれの任務遂行に役立つように作られています。そして各クラブの会長がその任務及び責任に精通しておれば、それだけ、貴殿の任務遂行及び貴殿の目標達成が容易になるのであります。

故に貴地区の全クラブ会長に対し、年度を通じて随時に会長必携を参照することをご要請願います。それはクラブ会長の任務遂行を一層効果的にすると同時に地区のロータリー・リーダーとしての貴殿のご指導力を一層有効にするものとなります。

●世界社会奉仕への参加奨励

ロータリアンは時折、資金面の援助以上のこ

とを要す国際奉仕をしたい、という意欲を示されます。世界社会奉仕計画がその方法の一つです。国際ロータリーの世界社会奉仕委員会のメンバーは各地区のガバナー並びに地区委員会と連絡をとって世界社会奉仕活動の推進、奨励を行なうことになっております。R. I. 委員会の目標はできる限り多くのクラブを、個々のクラブ単位で、さまなければ地区計画として、この世界社会奉仕活動に参加させることであります。就いては、世界理解週間用資料キットに入っていた「世界社会奉仕計画情報要請書」を提出して本計画に参加することを貴地区内の全クラブへご要請願います。

●青少年への奉仕

青少年への奉仕は、「ロータリーにおける最大の未完成物語」と呼ばれるもので、各クラブにおいて、「人間に威信を」与える諸活動の機会を提供している部門であります。少年男女のスカウト活動、青少年センター、インターアクト・クラブ並びにローターアクト・クラブ…これらは、各ロータリー・クラブがこの青少年への奉仕部門で実施できる活動の数例です。クラブから、青少年への奉仕活動を拡張する方法を問合せて来たときには、各地域社会における必要を見出すのに役立つ、パンフレット第15-A号、あなたの若人を知れの活用を推奨して下さい。

●ロータリー財団の活動を集めたザ・ロータリアン誌11月号

今年、1,200有余名の青年男女がロータリー財団の奨学金プログラムのもとに、国際理解を増進する親善使節としてロータリーのために活躍しています。財団プログラムには、大学院課程奨学金、大学課程奨学金、専門技術訓練のための補助金、心身障害者の教育に従事している教師への奨学金、研究グループ交換補助金、及び特別補助金などが含まれます。これらの教育補助金の各受領者はロータリー財団より補助金を受け、ホスト国ではロータリアン並びにその家族と親しく交友関係を結び、その国の文化、生活様式の手引きを受けることになっております。

その財団活動にスポットライトを浴せた記事の中には、二つの写真によるエッセイが含まれます。その一つは、大学院課程奨学生の目にう

つったイスラエルの町とその住民の生活を写真で描述したもので、もう一つの方は心身障害者の教育に従事している教師奨学金プログラムに関するもので、8カ国でそれぞれに勉強している本奨学金受領者の留学生生活を写真で報告する記事です。

スポーツマンのロータリアン向特集記事：「南部のスポーツ界」は、米国南部8州における各種屋外スポーツ競技を眺望した記事です。この記事は、1976年6月13日～17日、米国ルイジアナ州、ニューオーリンズで開催される第67回国際ロータリー年次大会への参加を計画しておられる皆さんにとっても、大変参考になる記事であります。

●ロータリーの襟章の値打ち

オーストラリアのアダムスタウン・ロータリー・クラブの会報編集者はロータリーの襟章の意義について質問し、そして次のように答えておられます。

『皆さんが最初に貰った襟章は無料でした。紛失したり、余分が欲しい時には、いつでもお買いになることができます。ところで、襟章は、真にどれほどの値打ちがあるのでしょうか？それはお金がいくらあっても、お金では到底買うことができない程の値打ちがあるのです…暫らく考えて見て下さい。皆さんも、「ロータリーとは他の人々への思いやりであり親切なことである。ロータリーとは、宗教が異なり、意見が相違し、国籍の異なる職業人が、世界の何処にあっても、親睦を深め合っている体験のことである。」ということをご存知の筈です。このほかにも、いろいろな定義の仕方があるかも知れませんが、つまり、友愛と奉仕ということになるのであります。そうです。この小さな襟章は特に今の時代には、大きな意義をもっているのです。皆さんの知己の中でも、この襟章を着用する特権を有する方は少数なのです。皆さんも、その日常生活において、ご自分の行動でもって他の人々によりよい行ないをするように感化しておられることと思います。他の人のためになる行ないをするならば、その日、世界は、いくらか、良くなっているのです。

皆さんはロータリアンです！故に、毎日、誇りをもって、その襟に徽章をつけて下さい！』

■昭和51年度米山奨学生の募集について

10月1日から開始されております昭和51年度米山奨学生の募集要綱はすでに各クラブに送付されておりますが、申込書は財団法人ロータリー米山記念奨学会事務局またはガバナー事務所へご請求下さい。申込の締切は11月20日で当会事務局へ持参或いは書留で郵送して下さい。

なお、推薦ロータリークラブからの推薦状は必ずしも必要としておりませんが、申込用紙の最下段にロータリークラブ名、幹事の署名、捺印をお願いすることになっておりますので、ご留意下さい。

■1976年度国際大会の

宿泊予約申込について

国際大会事務局では、ただ今、1976年6月13～17日、米国ニューオーリンズにて開催される1976年国際大会で使用する、宿泊予約申込をする公式用紙の作成、印刷を進めております。

この公式用紙ができ上がり次第、当地区用として25枚、1975年12月中にガバナー事務所に送付されて来ます。希望者がございましたらお申出下さい。

■事務局開設並びに電話新設のお知らせ

③ 新城ロータリークラブ

開設日 10月1日より

事務局 新城市的場73 新城商工会内

■公式訪問日の変更について

一色と豊橋南両ロータリークラブの公式訪問日が下記のとおり変更になりました。

一 色 11月6日(木)を12月4日(木)に変更
豊橋南 12月1日(月)を12月15日(月)に変更

■「人間の尊厳」の資料について

インバッサイ会長のメッセージ「人間に威信を」が発表されて以来、多くの会員の皆様から閲読のご希望のありました、南山大学発行の「カトリック大学と人間の尊厳」

「大学と学生生活」

の2資料を当大学のご厚意より100部無料で贈呈いただきました。

希望部数(郵送料は実費負担)をガバナー事務所までご連絡下さい。

■伊那クラブ財団寄付率1.500%達成の額贈呈

ロータリー財団管理委員会では、一つまたはそれ以上の大きな個人による寄付或いは遺贈でなくクラブの努力の結果として、寄付率が1.500%またはそれ以上に達したクラブに対して、感謝の額が贈呈されます。

伊那クラブが最近この水準に達し、感謝の額が届きましたので、10月12日(日)に開催され

1974～75年度 第360地区協議会決算書

豊橋ロータリークラブ 石川和昌
地区協議会実行委員長

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
クラブ登録料 @45,000×72	3,240,000	総 務 前夜懇談会	452,817
一般参加者登録料 @6,500×47	305,500	その他総務	402,662
宿泊予約金 @3,000×138	414,000	本会議	144,759
地区資金より	300,000	分科会	715,895
ガバナー事務所より	139,980	登 録	366,305
雑 収 入 普通預金利子	16,631	友 愛	1,194,660
その他雑収	12,000	宿舍交通 宿泊予約金支払	414,000
		その他宿舍交通	211,710
		記 録	520,346
		残 金	4,958
合 計	4,428,112	合 計	4,428,112

た、ロータリー情報研究会の会長分科会の席上池上会長に贈呈いたしました。ご貢献に対し深甚の敬意を表します。

■飯田南クラブ創立10周年記念式典举行



さる9月21日午後1時より飯田商工会館において、飯田南クラブ創立10周年記念式典が簡素なうちにも厳かに挙行された。当日は、山田ガバナー、原パストガバナー、飯田市長、南信第2分区の現、元分区代理、並びに現会長幹事をはじめ多数の来賓と会員、家族、関係者計130名が列席、感謝状、記念品贈呈等盛況山のプログラムにより進められ、めでたく式典を終った。引続き2時よりシンポジウム「ロータリーの過去、現在、未来、飯田南RCの伊那谷における役割」について意見発表があり、4時より懇親会が盛大に行われた。

なお、記念事業として

ロータリー財団基金へ 金65万円也

飯田風越福祉へ 運動用具一式、大型回転ジャングルジム、小型2人向けせブランコ

飯田市交通安全連合会へ 道路交通標識一式

飯田市教育委員会へ 飯田市母親バレーボール大会 優勝旗とカップ2個

ボーイスカウト飯田第1団へ 訓練用天幕一式
福祉施設職員永年勤続者に感謝状と額縁及び記念品・目ざまし時計を贈呈 7施設 22名

■（仮）西春日井クラブ創立総会開かる

新クラブ結成の準備を進めておりました。西春日井ロータリークラブが、10月14日（火）、名古屋国際ホテルにおいて創立総会を挙行いたしました。当日は、山田ガバナー、PG滝沢地区拡大委員長、鮎谷直前ガバナー、赤津地区幹

9月会員数及び出席率 (50年10月10日現在)

順位	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前月順位	前月会員数	増減
1	名古屋北	92	100	4	1	92	
1	豊松本	86	100	4	26	87	-1
1	春飯	78	100	4	1	78	
1	井田	75	100	4	16	72	+3
1	犬根	70	100	3	1	70	
1	駒ケ	65	100	5	1	65	
1	あま	62	100	4	1	62	
1	安城	61	100	4	1	61	
1	飯田	61	100	4	1	61	
1	名古屋和	60	100	4	21	60	
1	名古屋旭	54	100	3	30	54	
1	尾張	42	100	4	1	42	
1	辰野	42	100	3	1	41	+1
1	井上	37	100	4	1	37	
1	戸山	33	100	4	61	33	
1	飯島	30	100	5	1	30	
17	松川	34	99.93	4	57	36	-2
18	伊那	63	99.68	4	1	63	
19	一宮	69	99.64	4	19	69	
20	刈谷	69	99.62	4	25	69	
21	名古屋港	105	99.53	4	15	104	+1
22	豊田西	52	99.52	4	18	52	
23	豊川東	62	99.46	3	55	60	+2
24	長野	65	99.42	3	28	63	+2
25	稲沢	54	99.37	3	23	54	
25	小牧	53	99.37	3	37	53	
27	蒲郡	69	99.26	4	49	66	+3
28	豊橋北	91	99.11	5	24	91	
29	名古屋東	84	99.10	4	46	82	+2
30	豊橋南	52	99.04	4	38	52	
31	名古屋南	69	99.03	3	34	69	
32	田原	47	98.94	4	29	46	+1
33	津島	68	98.87	4	41	69	-1
34	岡崎東	42	98.81	4	19	42	
35	岡崎南	60	98.78	4	30	60	
36	豊橋中	105	98.69	5	17	103	+2
37	名古屋中	75	98.67	4	48	75	
38	名古屋東	71	98.59	4	43	71	
39	瀬戸	67	98.51	3	32	67	
40	一色	48	98.43	4	42	48	
41	西尾	64	98.36	5	40	64	
42	名古屋守	75	98.33	4	22	74	+1
43	常滑	52	98.04	4	1	52	
44	岡崎南	77	97.92	3	39	77	
45	名古屋西	131	97.73	4	44	128	+3
46	名古屋南	105	97.55	3	33	104	+1
47	新城市	40	97.50	4	51	40	
48	上田	60	97.49	4	47	59	+1
49	岡谷	54	97.41	5	36	55	-1
50	松本	74	97.30	4	14	74	
51	松本西	35	97.14	5	59	35	
51	奥三河	35	97.14	4	45	34	+1
平均出席率=97.08%							
53	小尾	49	96.97	4	27	50	-1
54	江西南	41	96.95	4	53	41	
55	江大	55	96.82	4	35	55	
56	高宮	62	96.22	3	56	62	
57	一宮	85	96.14	4	52	85	
58	高浜	41	95.61	5	58	41	
59	木曽	41	95.60	5	71	41	
60	東知	41	95.12	4	54	41	
61	東名	45	94.82	3	50	45	
62	名古屋空	217	94.02	5	62	214	+3
63	名古屋港	68	93.82	4	63	69	-1
64	半田	68	93.07	4	60	68	
65	長富	74	92.96	5	64	74	
66	諏訪	28	92.86	4	68	28	
67	白馬	52	90.38	4	67	52	
68	中野	30	90.00	4	65	30	
69	渥美	39	89.75	4	66	39	
70	丸根	37	88.57	3	70	37	
71	箕輪	34	84.55	4	69	34	
72	南佐	25	83.83	4	72	25	
73	南佐	29	77.60	5	—	—	+29
会員数 4,485名 純増 +49 (累計121)							

事、大竹尾張第2分区代理ほか多くの来賓、関係者が列席され、めでたく総会を終了しました。

なお、例会等詳細は次のとおりです。

例会 火曜 12:30～1:30

例会場 東海銀行枇杷島支店

会員数 34名

テリトリー 愛知県春日井郡全域

会長 野田真一 幹事 大久保審也

スポンサークラブ 稲沢ロータリークラブ

特別代表 篠田 功

■R.I.第360地区ロータリー情報研究会前夜打合せ開催

日時 昭和50年10月11日(土)

17:00～20:00

場所 ホテルニューナゴヤ 9階3号室

出席者 山田ガバナー、田宮カウンセラー、
鮎谷、安野、滝沢、近藤リソースマン
藤原、鈴木(敏)、大竹、鈴木(武)リ
ーダー、赤津地区幹事

■1975～76年度地区年次大会第4回企画委員会開催

日時 昭和50年10月14日(火)

10:30～12:00

場所 ホテルニューナゴヤ 9階2号室

出席者 山田ガバナー、佐藤、原、鮎谷パス
トガバナー、藤原ガバナーノミニ
ー、赤津地区幹事、丸山、水野委員

■ボールハリスフェロー誕生

深く敬意を表しますと共に心からお慶び申し上げます。

222号 宮本 照高(中 野)

223号 橋本新太郎(尾 西)

224号 千村 万三(木 曾)

225号 中村淳之助(松 川)

226号 赤沼 千尋(松 本)

227号 野畑 鉄夫(名古屋空港)

228号 関根 孝雄(名古屋東)

229号 田代 勝洲(名古屋西)

230号 三沢 真彦(岡 谷)

231号 岩瀬 一三(岡 崎 南)

232号 寺田 忠雄(瀬 戸)

233号 山本 恵明(豊 田)

234号 森 泰樹(豊 橋)

235号 伊藤 健児(豊 橋)

236号 茅野 弘(諏 訪)

237号 米津 増夫(西 尾)

238号 犬塚 梅市(西 尾)

239号 恒川 鎔二(名古屋南)

240号 笠間竹次郎(名古屋北)

241号 井上 丹治(名古屋守山)

242号 橋場 久馬(松 本 南)

243号 相沢 正樹(松 本 南)

244号 小林 平八(飯 島)

245号 小林 正雄(飯 島)

246号 桃沢 茂雄(飯 島)

247号 宮沢 政雄(飯 島)

248号 下平 光義(飯 島)

249号 中島賢二郎(飯 田 南)

— 敬 弔 —

次の方がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

古池元吉君(江 南)十一屋書店主

昭和50年9月24日 逝去80才

長谷稜造君(名古屋西)亀山電機(株)社長

昭和50年10月2日 逝去 72才

山 田 市 三 郎

国際ロータリー第360地区

ガバナー事務所

〒460-91

名古屋市 中区栄三丁目33-13

中京相互銀行7階

☎名古屋(052)262-6111(交換)

☎名古屋(052)262-2505(直通)

地区幹事 赤津 賢太郎

(名古屋南ロータリークラブ)